

台東区議会議員



早川太郎



平成30年 第四回定例会 報告

<http://hayakawa-taro.com/> 随時ブログ更新中! Vol.31

11月26日から24日間にわたって開催された第四回定例会は、約4千万円の一般会計補正予算（第4回）を含む区長提出議案10件の他、「固定資産税・都市計画税の軽減措置等の継続を求める意見書」を含む2件の意見書を可決し、12月19日に閉会しました。

第4回補正予算には、**区有地（旧上野忍岡高校跡地）を活用した緊急保育室整備の経費や、私が要望していたベビーシッター助成の経費が債務負担行為として計上されており、対象者をパートナー以外の同居者まで広げた風しんの抗体検査や予防接種費用なども含まれていて、必要な予算と考え賛成いたしました。**今後とも、**感染症対策や子育て対策**など、より一層の充実をはかるべく、全力を尽くしてまいります。すべての世代の未来のために、台東区の未来のために。区民の皆様の声をいただきながら、台東区政改革に全力で取り組んでいく決意です。ご理解とご協力をお願いいたします。

保健福祉委員会視察（11月14日より16日）



視察内容

平成30年11月、保健福祉委員会の視察で徳島県・兵庫県・大阪府へ。

- 「介護助手について」（徳島県）
- 「ふくし総合相談窓口について」（兵庫県たつの市）
- 「大阪精神医療センターについて」（大阪府）

たつの市では、地域共生社会の実現に向けた取り組みである「ふくし総合相談窓口」について勉強させていただきました。

複数の困りごとがあつて市役所に相談した時に、「どこに相談に行ってもよいかわからない」「同じ話を何度も違う窓口でしなくてはならない」等の課題がありました。そこで、分野を超え、縦割りではなく横断的な対応をし、課題解決まで至らなくても伴走型の支援をしていく「ふくし総合相談窓口」を平成29年4月にスタートしました。複合化・複雑化した課題に的確に対応するために、各制度ごとの相談支援機関を総合的にコーディネートする相談支援包括化推進員を配置し、チームとして包括的・総合的な相談体制を構築しています。市役所の関係部署や外部の専門機関等も巻き込んだ「相談支援包括化推進会議」などを開催し、個別ケースに関する検討や意見交換を行い、課題解決に向けた取り組みを進めています。多職種・多機関のネットワーク化も進み、相談件数も伸びているそうです。台東区においても、複合化・複雑化した課題にお困りの世帯も多く、相談支援体制の構築は重要な課題であり、大変勉強になりました。先進事例を勉強させていただいたことで、区としての課題が見えてきたような気がします。今後の区政に活かしていけるよう、取り組んでまいります。



トピックス



「平成31年度にむけた政策要望」を区長へ提出

平成30年11月26日、「つなぐプロジェクト」は、「平成31年度にむけた政策要望」を区長に提出してまいりました。この「政策要望」は、「誰もが住んでよかった」「住み続けたい」と思える台東区実現に向けて、来年度に台東区として取り組んでほしい施策をピックアップした内容になっています。政調会長として、第3回定例会開催中に各議員へのヒアリングを行い、会議を重ねて取りまとめ、決定いたしました。今後の一般質問や予算特別委員会などの審議を通して、行政に強く要望し、より良い台東区の実現に向けて取り組んでまいります。